

(別紙4(2))

(有)やなぎはら
事業所名: グループホーム 菜の花の家

作成日: 令和 3年 1月 12日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	6	身体拘束委員会を3ヵ月に1回開き、年に1～2回は勉強会に取り入れている。また、毎月のホーム会で身体拘束内容や件数等も報告をしているが、職員が身体拘束の理解と確認ができる取り組みがまだ薄い。	全職員が身体拘束の理解と内容、大切さをしっかりと把握できるよう取り組む。	身体拘束の三原則、3つのロックを作成し、職員がいつでも目に付ける場所へ掲示する。また、身体拘束委員会のメンバーが管理者と副管理者の固定で行っていたため、メンバーに従業員をローテーションで参加してもらい理解を深めるよう取り組む。	6～12ヶ月
2	35	避難訓練を年に6～7回行っている。(火災、水害、地震)しかし、緊急時に入居者様の状態がわかる写真付きのマニュアル作成をしていなかった。	写真付きの情報マニュアルを1冊にまとめる。	写真付きの情報マニュアルを作成し、半年に一度は見直すようにする。また、状態が変わった入居者様にはその都度変更し、職員全員で確認を行う。	6～12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。